

有田川町議会広報

かわら版

第72号

令和6年2月発行

QRコードから
議会の情報
をご覧ください



有田川町議会 検索



●発行／有田川町議会 ●発行責任者／議長 谷畑 進 ●編集／広報広聴常任委員会 ●印刷／協栄印刷

〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町大字下津野2018番地4 TEL：0737-22-3294(直通) FAX：0737-52-2198

住民生活の回復を

年頭のごあいさつを申し上げます。
 いつも安心・安全な生活がおくれていることは喜ばしいことです。
 しかし、私たちは、災害多発国に住んでいます。昨年、本町では豪雨により道路や農地などに被害が出ました。
 新年早々からは、能登半島を震源とした予期せぬ大地震が発生し、収束が見えない状況が続いています。被災された皆さまに心よりの哀悼とお見舞いを申し上げます。

改めて、他山の石とせず、災害に強いまちづくりの重要性を再確認し、復興支援にも取り組んでいかなければならないと痛感しています。
 また、新型コロナウイルス感染症は5類に引き下げられ、コロナ禍前の生活に戻りつつありますが、世界情勢などによる物価高騰が続き、家計への負担が増しています。早い収束と普段の生活の回復を心より願っています。
 そうした中、今後とも厳しい行財政運営が予想されますが、町民の代表として、皆さまのご意思をしっかりと反映させるために、議会として全力を尽くします。
 結びにあたり、町民の皆さまにとって幸多き一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

有田川町議会

議長 谷畑 進

副議長 中島 詳裕



令和5年最後の一般質問に6人が登壇！

令和5年第4回定例会の一般質問は12月14日に行われ、6人の議員が登壇しました。一般質問の内容は、誌面の都合で一部を抜粋しての掲載となります。
 本会議の様子はインターネットで視聴できますので、パソコンやスマートフォンなどからお気軽にぜひご覧ください。

一 般 質 問

6人の議員が登壇

栗山昌之	地下貯水槽の設置は	P 3
殿井 堯	通学路の安全対策は大丈夫か	P 4
椿原 竜二	住民のための行政サービスを！	P 5
増谷 憲	有田川の環境整備は	P 6
堀江 眞智子	農業の未来を支える町づくりを！	P 7
岡 省吾	コロナ以前の賑わいを取り戻す観光施策を	P 8

※各議員ページのQRコードを読むと、一般質問の動画をご視聴できます。



栗山 昌之

地下貯水槽の設置は

問 貯水池の埋め立てや家屋の建設で農地が減少し、今までの保水力が非常に減少している。6月2日の豪雨のような時の対策も講じていく必要がある。

答 今後の治水対策の計画は。

最近では宅地開発などにより、一時保水の土面が減少しており、排水対策が課題となっている。

一度に大量の雨が降った場合、一時的に雨水を滞留させることができる貯水槽は一定の効果も期待できるが、まずは各河川の整備が重要であると考えます。県は天満川の河道拡幅や遊水地の設置を検討



土砂が堆積した鳥尾川

討してくれている。

有田川や鳥尾川、早月谷川も、河道整備や堆積土砂の浚渫、伐木などをおこなっていただいている。

町としても、まず関係区長や住民から情報をいただきながら、危険箇所などを確認する。下流域までの排水能力などを考慮し、流下能力の向上に取り組んでいく必要がある。

問 平成16年に吉備町と上中島区が結んだ覚書に「鳥尾川堤防（右岸側）の強化」や「雨水対策の基本計画を平

成16年度に完了する予定」とある。計画はできているのか。

答 当時、雨水対策も下水道整備と同時にする予定だったが、予算上、下水道を先行する形となった。当初の雨水計画は、多大な費用がかかるため実施できない。

問 鳥尾川と田殿田んぼの改修計画や6月2日に冠水した箇所の改修を進めてはどうか。

答 下水道整備はあと1〜2年で終了する。その後、雨水対策を

問 その間で雨水対策の計画を作成し、町民に対し説明する考えは。

答 児童施設が必要な児童生徒の増減があっても移動できるなどの利点もある。しかし、欠点も含めてしっかりと研究していきたい。

トレーラーハウス で児童施設を

問 トレーラーハウスは安価で早く製作でき、移動できる長所がある。児童施設として利用してはどうか。

答 今後の児童施設で計画してはどうか。
答 御霊小学校・藤並小学校の児童施設は通常の施設で建設する。
※その他「みかん農家等への町職員従事制限制度について」も質問しました。



通常の建屋に見劣りしないトレーラーハウス

通学路の安全対策は 大丈夫か



殿井 堯

問 気象警報などが発表され、緊急に下校しなければならぬとき

令和5年度は、学校までの道順を記載した「大雨がふったら避難所へ」という防災マップをつくり、消防庁長官賞を受賞した小学校もある。

また、消防署の指導で、子どもたちが「安全マップ」をつくっている。

問 通学路の安全対策はどうやって決めているか。

答 児童・生徒の通学路は、年度当初の家庭訪問で把握し、保護者と協議して決定している。



通学路の安全確保を

問 通学路の指導はどうか。

答 教員が校区内を巡回し、危険箇所の有無や確認を行い、もし危険箇所があった場合は、現場で指導を行っている。

小学生は、学童保育所へ行く場合と集団下校する場合がある。また、保護者が学校に迎えにくる場合もある。

集団下校の場合、引率する教職員が危険と判断したときは、安全

な道路に変更するなど、臨機応変に対応している。

6月の大雨時の教訓から、下校措置の対応を見直している。

問 浸水想定区域は通学路に含まれていないか。

答 冠水が予想されるときは、降雨時の周辺状況をもとに、教職員の見回りや地域の方々との協議により把握している。

子どもたちは、防災教育、安全マップにより、浸水想定区域の学習をしている。

大雨で学校周辺の道路が冠水した場合は、まず学校で待機し、安全の確認ができれば、保護者に迎えに来てもらう。



通学路が冠水する箇所を把握すべきだ



樺原 竜二

住民のための 行政サービスを!

問 保育所の「待機児童ゼロ」の取り組みは、令和6年度も可能なのか。

答 定数39名（0歳児）のところ、1.5倍の申し込みがある状態。優先度の高い方から順に入所できるように調整し、それ以外の方は個別に対応していく。

問 「申し込み時点で仕事が決まっておらず、入所できない」「仕事が決まってからも、入所できるかわからない」という回答がされたと聞いている。

答 仕事が決まり、保育が必要となれば、受け入れできるのか。家庭で保育ができ

令和6年度の「重点施策」と「事業の見直し」

都市公園の整備
林道や町道の整備（継続して工事中）
6月の豪雨による災害復旧
吉備浄化センター3池目増設
吉備浄水場兼水道庁舎建設
金屋第一保育所の整備
学童保育施設の整備
中学生国際交流事業の再開
保育所・小中学校などの照明LED化
新しみず温泉の運営開始
かなや明恵峡温泉の運営体制見直し
有田圏域で分娩できる医療体制の確保

ない方が入所できるように、保育士の確保などに努力していく。

問 待機児童は発生させないという認識でいいか。

答 発生させないように取り組んでいきたいと考えている。

問 御霊学童保育施設整備事業はどのような計画か。

答 令和6年春から設計業務を開始し、令和7年初めに建設工事を発注。冬に完成の予定。

事業規模は概算で1億8千万円程度と考えている。

問 金屋第一保育所整備事業の計画は。

答 計画中の建築面積、定員、事業規模に変更はない。

令和6年夏、金屋学童保育施設が完成予定。令和6年秋、農村センター解体工事を開始予定。

令和7年初め、保育所建築工事を発注予定。令和8年4月、開所予定で進めている。



直営から民間運営をめざしている「かなや明恵峡温泉」

問 藤並学童保育施設は、応急的な対応がなされている。老朽化している建物もあるが、令和6年度の計画は。

答 藤並学童第1、第3、第4の施設整備計画策定を予定している。

問 かなや明恵峡温泉は、直営から民間運営をめざしているとのことだが、いつ頃を予定しているのか。

答 なるべく早い時期に民間主導の運営に移行できればと考えており、町の負担にならない方法を含めて研究している。

※その他「医療・介護サービスの充実についても質問しました。

有田川の環境整備は



増谷 憲

問 有田川の濁りが2カ月も続いたのは初めてだ。特に二川ダムより下流が問題。ダム定期検査は手引きがあり、これでダム湖の状態や水質検査、土砂の堆積状況などをつかんでいる。調査結果を取り寄せ、専門家の意見を聞き、改善すべきでないか。

答 県はダム湖の水質検査を年4回、3地点で行っている。また、濁度は毎日定時に自動観測してくれている。県の濁り改善策は、濁りの状況や時期により、濁りの薄い位置での取水のため、岩倉発電所の取水口に「角落し（調整板）」の設置

二川ダム堆砂率

国土交通省の資料から

		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
堆砂量	千m ³	5812	6098	6153	6217	6237	6449	6791	6862	7084	7205	7160
堆積前年比	千m ³		286	55	64	20	212	342	71	222	121	-45
堆積率	%	72.7	76.2	76.9	77.7	78	80.6	84.9	85.8	88.6	90	89.5

問 二川ダムの土砂堆積率は約90%である。このことへの認識とダムの延命策はどうか。

答 当初計画より早くや維持放流の取水口を変更して対応している。

問 有田川水系河川整備計画の見直しはどうか。

答 計画を作成してから8年経過しているが、県は今の計画を完成させるため、事業を進めたいとのことだ。



問 白馬山系は風力発電に適さない

問 白馬山系の大規模溜まってきている。県は毎年、遠井キャンプ場付近の土砂撤去をしている。今後も予算を確保して土砂撤去を進め、大規模な出水が予測される時は、予備放流など事前に貯水位を下げて洪水調整容量の確保に努めていきたいとのことだ。

問 地元合意というのはどこまでですか。

答 町は地元の範囲の線引きはしていない。

問 林地開発許可は、災害の防止など4項目をクリアしないと許可されない。

答 町は地質に対する専門的な知見はない。環境影響調査結果や林地開発許可で適切に行っていると思う。

問 林開発許可は、基本的には許可しないとなっている。事業者の計画予定地には1級地があり、建設できないのではないのか。

答 県に聞くと、原則1級地は解除しないとされている。しかし、予定地はどこか分からないので判断できないという。

問 開発は限界に達していると地質の専門家は指摘しているが、認識はどうか。

答 町は地質に対する専門的な知見はない。環境影響調査結果や林地開発許可で適切に行っていると思う。



堀江 眞智子

農業の未来を支える 町づくりを!

問 農業後継者の育成支援は。

答 本町では「地域おこし協力隊」制度を利用し、有田みかん・ぶどう・山椒を中心とした地域農産物の栽培や、農業経営の研修を積んでいる。町内での独立就農をめざす目的で、会計年度任用職員として採用している。

問 本町の労働力確保に向けた農業施策はどうか。

答 農繁期の労働力不足を補っている季節労働者の宿泊場所を確保するため、自宅や農業用倉庫を改修して援農者滞在場所とする費用を補助している。



金額は、補助対象経費の2分の1で上限50万円である。

また、季節労働者を対象とした公衆浴場入浴料の助成も行っている。宿泊に対する補助金は、今後研究していきたい。

学童保育料への 支援は

問 生活保護世帯や就学援助家庭の保育料を補助する考えは。

答 令和7年度実施に向け、調整している。

問 御霊学童保育所第2の建設計画は。

答 令和6年度に設計業務をはじめ、令和7年度中の開所をめざす。

暖房便座の 設置は

問 進捗状況はどうか。

答 令和4年に安諦小学校に1基、小川小学校に3基設置。令和5年に八幡小学校に1基設置。令和6年は、石垣中学校に設置を予定している。

会計年度任用職員の 処遇改善は

問 月例給・期末手当の4月遡及は。

答 月例給は、令和5年で大幅なベースアップを実施したため遡及しない。

期末手当は、12月の期末手当に遡及分を含めて支給する。

問 来年度の一時金支給は。

答 期末手当は、正規職員と同じく2・45カ月と考えている。

勤勉手当は、国の方針に合わせて正規職員と同じ2・05カ月を支給するよう前向きに検討する。

問 保育士など正規職員と同じ勤務実態にある会計年度任用職員は、選考の際、実績を重視することができないのか。

答 町職員採用試験は、要綱に基づき、公平・平等・客観的に判断し、採用者を決定する。



コロナ以前の賑わいを 取り戻す観光施策を



岡 省 吾

問 (仮称)新しみず温泉の完成時期とオープンの見通しはどうか。

答 令和5年から「新しみず温泉」の建て替え工事が始まり、令和6年7月の完成をめざしている。完成後、速やかにオープンできるように工事を進めている。

問 安定的な運営や積極的な誘客の取り組みが重要だ。委託先の「ふるさと開発公社」に寄せる期待をどう伝えられているか。

答 公社には相当な気概、危機感をもって運営を行ってもらわなければならない。新たな誘客が地域経済にもた



新しみず温泉(イメージ図)

らす効果はもちろんのこと、經由地の金屋・吉備地域への経済波及も見込めることから、新しみず温泉を成功させることを厳とするよう伝えている。

問 現在、稼働しているしみず温泉の建屋は今後、どう考えているのか。

答 閉館後の利活用は、さまざまな意見もいた

だいているが、建築場所が急峻な土地に建っていることから、専門

的な意見も聞きながら検討したい。

問 観光振興に大きく関わってくる道路事情災害による国道の復旧見通しはどうか。

答 県に確認したところ、二川地内は令和6年早々に工事着手の予定。

楠本地内は、現在、

施工中で年度内の完成に向けて進んでいる。久野原地内は、国の災害査定が終了したところで、これから工事

を発注するとのことだ。

ワーケーションの認識は

問 ワーケーションの認識と企業誘致の考えはどうか。

答 企業へのワーケーション誘致は、地域課題の解決や活性化につながる手段の一つと考えられている。

現在、IT企業による清水地域での農林業と掛け合わせたワーケーションの計画も進められている。

移住就業支援拠点施設「しろにし」を中心とした取り組みも含め、地域と企業相互の連携・協働による取り組みを推進していきたい。

問 10年、20年先を見据えた定住促進施策の考えをどう持たれているか。

答 平成27年度に将来の人口ビジョンを策定

している。



「しろにし」でのワーケーションイベント

2060年で人口2万人を目標に掲げる。

この目標を達成するためには、各地域の特色を見極めながら、住民とともに進めるまちづくりが重要になると考えている。

現在、進めている施策を基本として、住民のニーズや時代に即した内容に改善を図り、定住促進や人口対策に取り組んでいく。

こども議会が開催されました!



令和5年11月10日に田殿小学校6年生による「こども議会」が開催されました。

こども議員は、有田川町の小学生代表として「教育」「産業」「観光」「環境」など、疑問に感じたことや考えたことなどをまとめて質問しました。

〔1班〕

問 田殿小学校の体育館のクーラーを設置する計画は。

答 順次、計画的に設置していきたい。

問 運動場に人工芝を敷けないか。

答 今の財政では非常に難しい。

〔2班〕

問 広い公園が少ない有田川を整備し、河川敷を公園として使えないか。

答 河川は制約があり難しい。水害のないところに、防災公園を計画している。

〔3班〕

問 特産物を町から飲食店に配り、特産物を生かしたメニューを販売してもらい、観光客増加に取り組むのはどうか。

答 商品開発の補助金を出している。「大阪・関西万博」でも有田川町を宣伝できるようにがんばる。

〔4班〕

問 田殿小学校近くの小さな公園は、遊具が少なくさびているので遊ぶ気にならない。遊具を直す計画は。

答 ペンキの塗り替えを早速行う。

問 空き家対策の取り組みは。

答 危険な空き家には、条件はあるが解体する補助金を出している。使える空き家は一人でも多くの方に使っていただきたい。

～ 議員による事前学習を実施 ～

こども議会開催にあたり、広報広聴常任委員会が田殿小学校に出向き、事前学習を行いました。

議会とはなにか。仕組みや一般質問の目的など、わかりやすい内容で授業を行いました。



第6弾の応援クーポンが配布されます! 全町民一人5,000円分!

令和5年第4回定例会は、12月5日から19日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案は原案のとおり可決しました。なお、決算審査特別委員会に付託されていた令和4年度一般会計決算と各特別会計決算も原案のとおり可決しました。

◎一般会計補正予算（第6号）10億2862万円

（単位：万円）

項目	金額	おもな事業内容
総務費	426	情報通信基盤施設費 光ケーブルの移設工事(楠本地内)
民生費	3067	障害者福祉費 障害福祉サービス費(障害介護給付費)
	600	児童福祉総務費 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金 50,000円×120人
	100	保育所費 金屋第2保育所冷蔵庫購入
農林水産業費	1000	農地費 緊急自然災害防止対策事業
	750	林道新設改良費 緊急自然災害防止対策工事
商工費	2000	観光費 しみず温泉新築工事
消防費	540	消防施設費 緊急避難用大型トラック(形成車)保管場所
	126	災害対策費 衛星携帯電話アンテナ整備
教育費	7491	学校管理費 藤並小学校エアコン設置
	351	学校給食費 給食用材料費(物価高騰分)支援事業補助金
災害復旧費	519	その他公共施設災害復旧費 情報通信施設の修繕
公債費	7億6152	元金償還金 金利の高いものから繰上償還



○応援クーポン券
給付金(第6弾)
1億5553万円
一人5千円のクーポンを、令和6年2月上旬より配布予定。

○物価高騰対応重点
支援給付金
2億936万円
非課税世帯に7万円を、2月上旬より給付予定。

○エネルギー、食料品
価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援する。

一般会計補正予算
(第7号)

3億6489万円

請負契約の変更

○(仮称)しみず温泉

新築工事

設計変更による増額

・建築工事

986万9200円

・電気設備工事

16万5000円

・機械設備工事

684万2000円

請負契約

○(仮称)金屋学童保

育施設新築工事

5555万円

規約の改正

○有田郡老人福祉施設

事務組合規約

なぎ園に係る経費の

分担割合を変更するた

め

条例の一部改正

○町行政組織条例

地籍調査課を税務課

に統合する改正

○個人番号の利用及び

特定個人情報提供に

関する条例

国の法改正に伴う改

正

○町職員の給与に関す

る条例

人事院勧告に伴う改

正

○国民健康保険税条例

国の法改正に伴う改

正

○手数料徴収条例

国の法改正に伴う改

正

○農業集落排水処理施

設条例

熊井地区農業集落排

水処理施設を公共下水

道へ統合する改正

令和6年4月1日から
令和11年3月31日まで



有田川町木材利用促進施設(清水地内)

○火災予防条例

国の法改正に伴う改

正

道路線の認定

○町道1019号線

(野田地内)

延長 113.53m

幅員 6m

○有田川町木材利用促

進加工施設(清水地

内)

指定管理者

株式会社 清建設

指定の期間

令和6年4月1日から
令和11年3月31日まで

委員などの選任

○教育長

片嶋 博氏

(庄)



○教育委員会委員

堀内 千佐子氏

(二川)



○固定資産評価審査委

員会委員の選任

栗生 幸也氏

(東丹生園)

中井 理自氏

(上六川)

大江 彰一氏

(久野原)

令和6年4月1日から
令和11年3月31日まで

全会計決算を認定！

令和4年度の決算は、一般会計・特別会計を合わせて歳入総額は265億9,408万円、歳出総額は258億9,014万円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は4億6,902万8千円の黒字となりました。

財政指標の一つである実質公債費比率が上昇しており、今後も数年間は上昇していくが、国の示す健全化判断比率の範囲内であるため、おおむね良好と判断しました。

なお、本年はすべての会計決算を認定しました。

令和4年度 おもな会計の決算状況

会計区分	収入済額	前年度比		支出済額	前年度比		
一般会計	171億5712万円	-11億9419万円	-6.5%	165億5112万円	-11億6246万円	-6.6%	
特別会計	国民健康保険事業	35億7532万円	1億0576万円	3.0%	35億7055万円	1億0657万円	3.1%
	介護保険事業	30億7479万円	-6704万円	-2.1%	30億2707万円	-5315万円	-1.7%
	後期高齢者医療	7億8973万円	-2524万円	-3.1%	7億7881万円	-2525万円	-3.1%
	簡易水道事業	4億4715万円	-3539万円	-7.3%	4億4288万円	-3878万円	-8.1%
	農業集落排水事業	2億5123万円	-4408万円	-14.9%	2億4301万円	-5230万円	-17.7%
	公共下水道事業	12億0420万円	-6571万円	-5.2%	11億8991万円	-8000万円	-6.3%

住民税務部

問 固定資産税評価替えの航空写真代はいくらか。

答 4250万円。

問 軽自動車税の滞納件数は。

答 224件。

問 国民健康保険の被保険者の特定検診受診率は。

答 32%。

問 マイナンバーカードの返納者は何人か。

答 1人。

総務政策部

問 基金を積み立てる場合の目標額の基準は。

答 財政調整基金には目標はない。減債基金は借入金の30%を目標にしている。

問 ふるさと応援基金の使い道は公表しているのか。

答 町のホームページで公表している。

問 寄附金が目標金額より少ないのはなぜか。

答 放送内容は簡潔にわかりやすくする。

問 防災行政無線放送をもっとわかりやすくできないか。

答 放送内容は簡潔にわかりやすくする。

問 ヘリポートはいくつあるのか。

答 町内で指定しているところは31カ所。

各部局に対し、数多くの質疑がありました。誌面の都合上、一部抜粋して掲載します。

問 基金を積み立てる場合の目標額の基準は。

答 今後出品業者との説明会を開き、出品業者を増やし、特色ある返礼品を考え、努力していく。

令和4年度決算の採決状況 (誌面の都合上、賛否の分かれた議案のみ掲載します)

議案名	結果	議員名														
		濃添	栗山	本下	椿原	中島	星田	谷畑	西林	岡岡	森谷	堀江	増谷	殿井		
令和4年度 一般会計歳入歳出 決算	認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	○
令和4年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出 決算	認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	○
令和4年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出 決算	認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	○
令和4年度 公共下水道事業特別会計歳入歳出 決算	認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	○

(注) 谷畑進議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

産業振興部

問 耕作放棄地再生事業で旧町別内訳は。
答 吉備2件、金屋2件、清水1件。

問 森林整備にかかる意向調査はいつまでか。
答 10年計画で、令和5年度で5年目になる。

問 林業機械購入補助金の内容と実績は。
答 林業従事者がチェーンソーや草刈り機を購入する時の補助金である。

購入金額の2分の1を補助し、実績は11件。

問 未利用材搬出補助金の内容と実績は。
答 バイオマス発電所へ木材を搬出する時の費用を1tあたり1000円を補助し、実績は2204t。

問 バイオマス発電余熱を利用した「かなや明恵峡温泉」への熱供給単価はいくらか。
答 1kwあたり約3円で購入している。上限は、年間255万円で契約している。

問 鉄道交流館のジオラマの改修は。
答 令和5年度に行く。

答 交付金は、なくなると思う。

問 消防団と消防署の合同訓練は今後も続けるのか。
答 コロナの影響で中止になっていたが、令和4年度から再開している。

問 石油貯蔵施設立地対策等交付金は今後どうなるのか。

消防本部

問 大型自動車免許取得助成金は何人分か。
答 2名分。

福祉保健部

問 介護保険事業で被保険者数が減少しているが、次期介護保険事業計画はどうなるのか。
答 人口の予測値を考えて計画を立てていく。

問 不妊治療費助成事業だが、受診年齢はどのくらいか。
答 一般が平均32・5歳、特定が34・3歳。

問 子宮頸がんワクチンの予防接種率が低下した理由は。
答 令和3年度が積極的勧奨をしていなかったため、接種した全員を接種率にしたため。

問 病児・病後児保育事業利用人数の内訳は。
答 有田川町196人、湯浅町28人、広川町24人、その他13人。

教育部

問 特色ある学校づくりの配分金額はどのようになっているのか。
答 学校からの要求があつてヒアリングをして決めている。

問 学校図書館司書5名の配置はどこか。
答 藤並小、田殿小、御霊小、吉備中、八幡中学校。

問 藤並館跡の土地を購入した後、保存計画はあるのか。
答 令和10年度までに史跡を購入し、住民が気軽に立ち寄れるような史跡公園ができればと思っている。

建設環境部

問 町営住宅の今後をどう考えているのか。
答 耐用年数が経過している住宅の今後を検討していきたい。

問 道路区画線などの施工延長は。
答 区画線は2537m、交差点マーク11カ所、グリーンベルト1503・3m。

問 プラスチック再生処理委託料で、協会と民間との金額の差は何か。
答 維持管理に補助をするなど、やり方を考えていきたい。

答 容器包装リサイクル協会は処理料の1%で、その他のプラスチックはそのままの処理料がかかるため。

問 マンホールトイレはいくつ購入しているのか。
答 全部で50基。

問 飲料水供給施設は、維持管理が難しくなっている。
答 今後の対策はどのように考えているのか。

問 維持管理に補助をするなど、やり方を考えていきたい。



『議員定数』と『報酬』の適正は

議会運営委員会

11月13日から14日にかけて、福井県おおい町と、京都府伊根町で視察研修を行いました。

「原価方式」で報酬を増額

おおい町では、平成23年の「議会基本条例」策定から、議会への民意の反映と情報公開を充実し、議決機関としての責任を果たすことを目的とした議会の改革が始まりました。その後、令和元年に業務の効率化、ペーパーレス化を目的とし議会にタブレットを導入しています。

令和4年には、いつでも議会や委員会を開催できるなど利点がある「通年議会」への移行を行っています。この議会改革のなか

で、議員定数の見直し、議員報酬の検討を行っています。

議員定数の見直しは、近隣の高浜町の減員に合わせて検討を行い、人口が減少したことや各種常任委員会の必要人数を考慮。町民の見聴取を実施し、議員提案で1人減の13人に変更しました。

議員報酬は、首長の月額報酬に議員の活動日数の割合を掛けて額を算出する「原価方式」を用いて議員報酬を算出しています。

報酬の増額に対して、仕事をするならば相応の報酬を支払うのは当たり前前との考えが町民にも浸透しており、反

対は少なく、町民は議会のあり方を理解していると感じました。その反面、若年層の

人たちが生活できる議員報酬まで増やすことができなかったのは残念であったようです。



「無投票」から定数を削減

伊根町は「舟屋」で有名な町であります。主産業は農業と漁業が中心ですが、本町の一次産業と同じく高齢化で今後の維持が難しい状況だそうです。

観光では、町外からの移住者が中心となり観光面を支えています。しかし、地元住民との交流が難しく、相互協力が課題であるとのことでもあります。

議員は、全員地元の有力者で、他の職業をもっており安定した生活を維持しています。定数は、前回の選挙で欠員が出たので自主的に議員定数を1名減らしたとのこと。

「議員報酬」は、町民アンケートで意見はさまざまでしたが、おおい町と同じ「原価方式」で算定し、首長の給与の21・9%となり改定されました。

両町とも、若い議員が立候補してくれることを望んでおり、今後とも検討を重ねるようです。

若年層の議会参加に向けて

本町では、人口・面積なども考慮し、議員定数や報酬のあり方を十分協議し、町民皆さまでに議会を理解していただき、検討していく必要性を感じております。

特に若年者の議会参加をどのように推進するかを第一課題に考えるかを第一課題に考えるかを進めていく必要があると思います。





活用範囲が広いトレーラーハウス

総務文教福祉常任委員会

10月16日から17日にかけて、東京都国立市と神奈川県川崎市で視察研修を行いました。

建築の工期が短いメリットが

国立市にて、トレーラーハウスを活用した「認定こども園国立富士見台団地風の子」という保育施設を視察しました。

園の概要は、1967年に団地の自主保育事業で認可外保育施設として設立され、2020年4月に認定こども園として開園されています。園児は35人。運営体制は園長・保育士・栄養士・看護師など職員8人で「思いっきり遊べる元気な子」という保育目標で運営されています。

建物は北海道の業者に依頼し、建築費は約1億円。

建築面積は約250平方メートル、木造平屋で、縦2.5m・横12mのトレーラーハウスを9台連結させていました。

メリットは、建築の工期が非常に短く、耐震や断熱に優れているとのことでした。デメリットは、各部屋間での防音性が悪く、音が響くので、お昼寝の時は隣の部屋では遊べない。また、業者が遠方だったので、打ち合わせやアフターケアがうまくできなかったということでした。

移動可能な避難所としても

川崎市では、各種サイズの違うトレーラーハウスを見学し、説明を受けました。

見学した施設は、縦3.5m・横11mで、室内にはトイレ・キッチンなどが整備されています。

室内に入れば通常の建設された家屋と全く変わらない間取りでした。



トレーラーハウスの内装

他の施設としての活用も

他の施設としての活用も

トレーラーハウスの施設は、天井が低くて手狭感がありました。

しかし、学童保育の利用者数が変化することを考えると、固定さ

た。

保育施設として使用する場合には、トイレを設置するだけでいいと思われま

す。また、大規模災害時に避難場所としての移転も可能であります。

れた建築物ではなく、移動して移転ができるトレーラーハウスは、ユーティリティに優れると思います。

最大の利点は設置場所の移動が可能であるということ、他の施設としても活用できるのではないかと思います。

町の人口減少が進む中、子育て支援を充実させるために、施設を建設する際には、施設の有効活用など、更なる研究を重ね、取り組んでいく重要性を感じました。

産業建設住民常任委員会

【林務課】

○木材利用促進加工施設の指定管理者の指定

株式会社 清建設

事業計画内容と安全管理面、公共施設への取り組みなどの実績を踏まえ、指定管理者として指定することが適切と考えられます。設備の老朽化を考慮し、機械の更新など計画的に取り組むことを提言しました。

【水道課】

○吉備浄水場兼水道庁舎建設事業

現在の浄水場および管理棟は、昭和47年から50年に建設され、老朽化が著しい状態です。良質な水道の安定かつ継続的な供給を目的とし、令和6年から8年の3カ年で新たに建設を行います。

- ・鉄筋コンクリート造
- ・（地下1階、地上2階）
- ・約27億9千万円

（概算事業費）



木材利用促進加工施設

国道・国土強靱化対策特別委員会

国道・国土強靱化対策特別委員会は毎年、国道、県道の整備状況を調査しています。

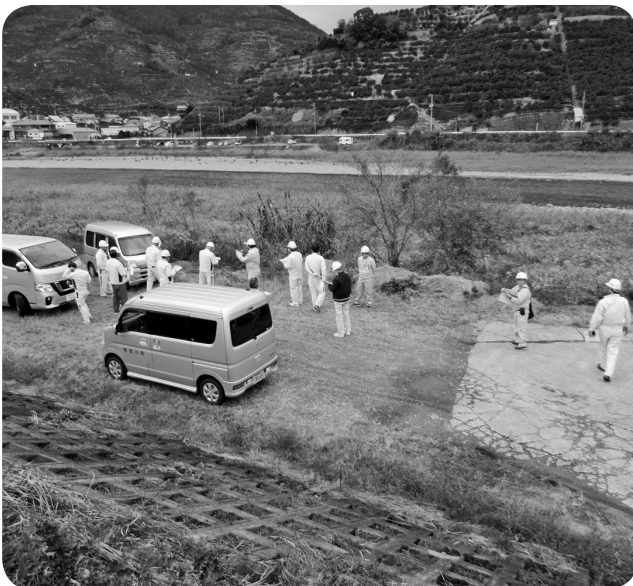
有田振興局建設部より、国道424号の西ヶ峯地域の五名大橋工区、県道海南金屋線の上六川工区、（仮称）鏡石トンネル掘削付近のそれぞれで説明を受けました。



工事中の国道424号(西ヶ峯地内)



貫通した(仮称)鏡石トンネル



河川浚渫予定地を視察

県道海南金屋線は、トンネルを含めて早期の開通をめざしています。また、有田川の田殿付近の河川浚渫の状況と予定の説明を受けました。

総務文教福祉常任委員会

12月7日（木）に総務文教福祉常任委員会を開催し、所管課より説明を受け現地調査を行いました。

45人ですが、70人まで入所可能であり、令和6年の秋頃に開所予定とのことです。その後、現地視察を行い、説明を受けました。

【こども教育課】

○金屋学童保育施設

施設は平屋建て、面積は153㎡、定員は



建設中の金屋学童保育施設を視察



損傷が激しい人工芝（金屋テニス公園）

【社会教育課】

○金屋テニス公園

現地調査の結果、金屋テニス公園の人工芝はかなり損傷しており、早急に修繕が必要であると感じました。

○明恵スポーツ公園

フェンスは、数カ所で破損が見受けられました。

現状よりもっと強いネットフェンスにすべきであると進言しました。また、利用者からの要望が強かった「バックネット裏の屋根」の設置も要望しました。

全議員一致でタブレット導入を決定

有田川町議会では、平成29年6月29日に議会運営委員会が、神奈川県寒川町議会のタブレット使用状況を視察。令和2年9月17日には、全員協議会でタブレット導入を検討することが決定されました。令和2年11月12日に作業部会を設置し、何度もタブレット導入に向けた協議を行い、議員全員がデモ機による

操作体験を行いました。想定されるメリット・デメリットを作業部会で議論し、全員協議会へ諮った結果、全員一致でタブレットの導入を決定。令和6年度当初予算で措置することになりました。早ければ、令和6年9月定例会よりタブレットを導入する予定です。



先進地視察ではタブレットが活用されている



【町民の皆さまへ】

◎次回定例会の予定

令和6年第1回定例会は3月5日開会予定で、一般質問は3月18日、19日に行う予定です。

ぜひ、傍聴にお越しください。

◎請願・陳情の受付

第1回定例会での審議を希望する場合は2月26日までに議会事務局へ提出してください。

お問い合わせ ☎222-13294
吉備庁舎4階 議会事務局まで

広報広聴常任委員会

- ◎ 増谷 憲
- ◎ 濃添 勇作

- 栗山 昌之
- 本下 雅敏
- 椿原 竜二
- 岡省 吾

◎は委員長
○は副委員長

編集後記

余寒の候、いかがお過ごしでしょうか。

新年に大規模な災害が発生してしまい被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、昨年6月上旬に有田川町で線状降水帯が発生し、自然の猛威を改めて知らされました。

12月中旬に最高気温20度超えの異常気象でもありましたが、今シーズンの「有田みかん」は特に甘く、つい食べ過ぎてしまった方もいらしたのではないかと思います。

一方で物価高や賃金水準の上昇も著しく、今後の産業構造がどのように変化していくのか、いささか不透明な情勢となっております。

生活する中でご不安なこともあるかと存じますが、皆さまのご多幸の一助となるよう努力しますので、

なにとぞよろしくお願いたします。

(濃添 勇作)